

《担当者名》真島 理恵 福田 実奈 関口 真有

【概要】

臨床心理学研究を行うにあたり必要な基礎的な知識を修得する。

【学修目標】

臨床心理学領域における研究法について知識を得る。

研究倫理について知り、倫理申請を適切に行うことができるようになる。

実験研究、調査研究、事例研究など、様々な臨床心理学的研究を行うにあたり必要な知識を身につける。

研究結果を発表する方法について知る。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|----|-----------|---|-------|
| 1 | イントロダクション | ・講義の概要について理解する。 ・研究とは何かについて考えを深める。 | 福田 実奈 |
| 2 | 心理学研究法概説 | 心理学研究法について理解を深め、自身の研究について考察する。 | 福田 実奈 |
| 3 | 心理学統計法概説 | 心理学統計法について理解を深め、自身の研究について考察する。 | 福田 実奈 |
| 4 | 研究計画法演習 | 研究計画の立て方を学び、自身の研究について考察する。 | 福田 実奈 |
| 5 | 論文の読み方 | 論文の精読方法について演習を行う | 福田 実奈 |
| 6 | 論文の書き方 | 論文の執筆方法について演習を行う | 福田 実奈 |
| 7 | 発表の技術1 | ポスターやスライド等の発表資料作成時の実際を知り、研究発表の技術を学ぶ。 | 福田 実奈 |
| 8 | 発表の技術2 | ・論文の作成と投稿について概要を知る。 ・審査結果をどうとらえるかについて考察する。 ・Reviewerとのやり取りの実際について、見識を深める。 | 福田 実奈 |
| 9 | 調査研究法(1) | 調査法の概要を理解する。 | 真島 理恵 |
| 10 | 調査研究法(2) | 因果関係の推測と生態学的誤謬について理解する。 | 真島 理恵 |
| 11 | 調査研究法(3) | 調査結果の解釈について理解する。 | 真島 理恵 |
| 12 | 調査研究法(4) | 質問紙の作成方法と調査データの処理方法について理解する。 | 真島 理恵 |
| 13 | 文献研究の方法 | メタ分析研究計画の立て方、方法について理解する。 | 関口 真有 |
| 14 | 文献研究の方法 | リサーチクエスチョンをたて、PICOを決め、実際に検索することで、論文検索の方法を体験的に学ぶ。 | 関口 真有 |
| 15 | 文献研究の方法 | メタ分析に関する論文を精読し、メタ分析の結果と解釈について理解する。 | 関口 真有 |

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

授業中の発言、受講態度、課題レポートによって評価する。

【教科書】

オリジナルの講義資料を用いる。

【参考書】

講義中に適宜紹介する。

【備考】

各回の授業の実施方法は実施前に周知する（状況に応じ、面接授業のみ、遠隔授業のみの実施とすることがあり得る）。

【学修の準備】

課題が出された際には必ず期限までに提出すること。事前に配られた資料については熟読したうえで講義に臨むこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、臨床現場において人の尊厳を重んじた科学者・実践家として社会に貢献することが期待できる能力を修得するという臨床心理学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【ICTの活用】

・ Google Classroomを利用して資料及び課題等を提示する

【実務経験】

関口真有（臨床心理士・公認心理師）

【実務経験を活かした教育内容】

臨床心理士・公認心理師としての実務経験および研究実績に基づき、臨床現場での研究立案をできるように講義する。